

## 2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 1 月 17 日作成)

小委員会名	大地震時耐震性能評価小委員会	主査名：長江拓也 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：五十田博 (主査名：菊地 優)
設置期間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	根拠に基づいて大地震に対する適正な対策を立案するために、建物の損傷とそれに伴う損失を定量的に評価する手法および DB を確立することを目的とする。 初年度：RC,S 造骨組の部材フラジリティと修復費の暫定案，シンポジウム開催 2 年度：DB 公開の準備，二次部材を含む部材フラジリティ・修復費の継続検討 3 年度：部材フラジリティの拡充，事前対策コストの検討，DB 逐次公開 4 年度：大会 PD (振動) 実施，刊行物の企画，成果展開法の検討，DB 逐次公開	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：長江拓也 (名古屋大学) 幹事：久家英夫 (竹中工務店)，杉野未奈 (京都大学)，西澤崇雄 (日建設計) 委員：石原 直 (東京工業大学)，糸井達哉 (東京大学)，伊山 潤 (東京大学)， 岡野 創 (フリーランス)，司 宏俊 (東京大学)， 梶原浩一 (防災科学技術研究所)，白井和貴 (北海道大学)， 土肥 博 (NTTアーバンソリューションズ総合研究所)，壇 一男 (熊本大学)， 永野正行 (東京理科大学)，宮腰淳一 (清水建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	・地震動評価 WG：妥当性，ばらつきを含む地震動評価全般 ・RC 造性能評価 WG：該当構造の部材フラジリティ・修復費・応答評価 ・S 造構造性能評価 WG：該当構造の部材フラジリティ・修復費・応答評価 ・二次部材性能・コスト評価 WG：該当部材のフラジリティ・修復費評価他	
2023 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： —

項目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	—
講習会	—
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	—
大会研究集会	—
対外的意見表明・パブリックコメント等	—
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 部材フラジリティの拡充，DB 公開の準備を推し進めた。 2. 数値解析モデル検証，事前対策コスト・各種修復費の継続検討を推し進めた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 各種構造の専門家との共同研究のよりいっそうの強化 2. 活動内容の認知度向上